

令和3年度

「運営に関する計画」

(中間評価)

大阪市立豊新小学校

令和3年10月

大阪市立豊新小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】 全市共通目標 ○令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○令和3年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上(H29:93% H30:90% R1:93% R2:93%)にする。 ○令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同じく0にする。 ○令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 いじめのアンケート調査を定期的に(学期に1度)実施し、当該児童からの聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していく。 指標 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。	B
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 社会や集団生活でのルールを守ることについて日常的に全教職員で指導する。 指標 令和3年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上(H29:93% H30:90% R1:93% R2:93%)にする。 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。	B
取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有し、個別支援を行う。 指標 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童を出さない。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① いじめアンケートを学期に一度行い、児童から聞き取りを行うことで、早期に解決へとつながる手立てを行っている。日々子どもたちの様子からもいじめ早期発見、解決へとつながる指導を継続して行う。 ② 93%で目標の割合は達成しているが、廊下・階段の安全な歩行や服装を整えるなどにおいてはルールを守れていると言い難い面もある。月目標を細かく細分化する週目標を決めたり、強調週間を設定したりする等して、全体で共通理解を図っていく。児童会活動を活性化させ児童に安心安全の意識をもたせることで、児童の自立へとつながるよう支援をする。遅刻児童を減らすため、学校だけではなく、地域・家庭への協力を引き続き呼びかけていく。 ③ 校内の不登校児については生活指導部会や、職員会議などで情報共有を行っている。スクリーニングシートを定期的(月1回)に記入・集計し児童の実態を全体で共有できる場を作る。不登校や遅刻が続いている児童に関しては、家庭での様子を聞き取り、生活習慣の改善を促していく。	

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（演劇・音楽鑑賞・古典伝統芸能）ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施する。</p> <p>○令和3年度の校内調査における「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上（H29:83% H30:85% R1:83% R2:84%）にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
<p>取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。</p> <hr/> <p>指標 年間行事計画に基づき、芸術鑑賞行事、3～6年生で社会見学を実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>キャリアパスポートに基づき、体験活動等で得た達成感や充実感を振り返り、自尊感情の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標 令和3年度の校内調査における「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上（H29:83% H30:85% R1:83% R2:84%）にする。</p>	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 劇鑑賞会は計画通りに実施することができた。新型コロナウイルスの緊急事態宣言やまん延防止措置等重点措置が発令中のため、社会見学は実施できていない。そこで、オンラインを活用した外国との交流会やコメ作り等、各学年で工夫をした体験活動を主体的に取り組んでいる。校外での社会見学は、今後順次実施の予定である。実施できない場合にも児童が主体的に取り組む体験活動ができる工夫と手立てを今後も支援していく。</p> <p>② 前期のアンケートの数値は84%と目標を下回っている。友達の良いところはたくさん見つけられるが自分のことは肯定的にみられない児童がいる。道徳科の学習目標を活用し、自分の生活と結びつけて考えることができるよう「生きる力」の育成を行う。</p>	

年度目標	達成 状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 学校の年度目標 ○令和3年度の校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合を84%以上（H29:86% H30:83% R1:88% R2:84%）にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学級文庫の充実ならびに地域の方の読み聞かせ活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。	B
指標 令和 3 年度の校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 84%以上 (H29:86% H30:83% R1:88% R2 : 84%) にする。	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 新型コロナウイルス感染症の影響により、図書館ボランティアによる読み聞かせ活動や図書館開放が難しい状況である。しかしながら各学年の実態に合わせて購入図書の選定をし、学級文庫の充実に努めている。また、図書委員会を中心に読書月間の計画（10 月実施）やクロームブックを活用したオンラインによる読み聞かせや本の紹介をする等、児童が本に親しめるようにしている。結果として校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合は目標の 84%に達した。今後も引き続き、適宜児童が興味を持てる本や資料、言葉等を紹介しながら、読むことに対して親しみを持てるように指導・支援していく。	

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○令和３年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○令和３年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の７割に満たない児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント減少させる。</p> <p>○令和３年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を２割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント増加させる。</p> <p>○令和３年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加（H29:75.9％ H30:72.7％ R1:73.3％ R2:66.5％）させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和３年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90％以上（H29:91％ H30:94％ R1:91％ R2:93％）にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【施策５ 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着とともに、活用力の向上を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、習熟度別少人数学習、放課後学習や家庭学習支援などを行う。</p> <hr/> <p>指標 令和３年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>令和３年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の７割に満たない児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント減少させる。</p> <p>令和３年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を２割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント増加させる。</p>	
<p>取組内容②【施策５ 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れた授業デザインを構築し、多くの場面で伝え合う場ができるように工夫する。</p> <hr/> <p>指標 令和３年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加（H29:75.9％ H30:72.7％ R1:73.3％ R2:66.5％）させる。</p>	B
<p>取組内容③【施策５ 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。</p> <hr/> <p>指標 令和３年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90％以上（H29:91％ H30:94％ R1:91％ R2:93％）にする。</p> <p>全教員が一人１回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修会を８回以上行う。</p>	B

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 小学校学力経年調査（12月7日・8日実施予定）の目標値達成に向けて、書く力の育成として視写活動を継続的に取り組み、過去の経年テストの問題を繰り返し実施している。また、学習したことを振り返る話し合い活動や、考えたことをノートや新聞等にまとめ、学習を深めている。
- ② 話し合い活動やグループ活動では、フェイスシールドを着用する等、感染対策に留意しながら取り組んでいる。考えを伝え合い、深める活動を積極的に取り入れることで、校内調査の「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできましたか」の項目においては、80%が肯定的に答え、昨年度と比較しても大きく数値が伸びている。経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目においても、前年度よりも肯定的に答える児童が増えるように、引き続き指導・支援していく。
- ③ 校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合は93%と目標を上回っている。11月までに全体研修は5回実施しており、個々の研究・研修も計画通り実施できている。今後も計画案に沿って研究授業・研修会を実施していく。

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p><u>学校の年度目標</u></p> <p>○令和 3 年度の校内調査における「I C Tを活用した学習はわかりやすい」(H29:95% H30:95% R1:93% R2:95%)、「外国語活動は楽しい」(H29:87% H30:94% R1:92% R2:89%)の項目において、肯定的に答える児童の割合をともに90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
<p>取組内容①【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>I C Tの効果的な活用方法について指導方法（プログラミング学習等）の研究を行い、授業実践を蓄積させていく。</p> <hr/> <p>指標 令和3年度の校内調査における「I C Tを活用した学習はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上(H29:95% H30:94% R1:96% R2:95%)にする。</p>	B
<p>取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。</p> <hr/> <p>指標 令和3年度の校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上(H29:87% H30:94% R1:92% R2:89%)にする。</p>	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 校内調査における「I C Tを活用した学習はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は95%で目標の90%を上回った。一人一台端末Chrome Bookを用いたデジタルドリル等の新たな学習活動を積極的に試みていることから、児童の学習に取り組む意欲を高めることができている。また、感染不安等で登校が難しい児童に対しての双方向通信Google classroomでのオンライン学習も進めている。</p> <p>② 校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は89%であった。朝の時間にモジュール学習を実施することで、外国語に対する児童の興味・関心を高めることに繋がっている。また、一人一台端末Chrome Bookを活用して、リアルタイムで他の国とつながる学習活動も展開している。今後、さらにモジュール学習や外国語活動の研究を深め、各学年の学習内容の系統を考え、全体で共通理解を図り、本校に応じた学習過程を構築する。</p>	

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳び、20m シャトルラン、立ち幅跳びの平均の記録を、前年度よりそれぞれ２ポイント（回）、２ポイント（回）、２ポイント（cm）向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計得点を５・６年生対象に、前年度より２ポイント向上（令和２年度結果 ５年生 男子…45 ポイント 女子…45 ポイント ６年生 男子…56 ポイント 女子…51 ポイント）させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
<p>取組内容①【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>体育の授業において、跳躍力や持久力、敏捷性のアップを目指す取組をする。</p> <hr/> <p>指標 令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳び、20m シャトルラン、立ち幅跳びの平均の記録を、５・６年生を対象に前年度よりそれぞれ２ポイント（回）、２ポイント（回）、２ポイント（cm）向上させる。</p>	B
<p>取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>運動やスポーツに興味・関心が高まり、楽しみながら体を動かすことのできる取り組みを工夫する。</p> <hr/> <p>指標 令和３年度の校内調査における「運動することが好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を８５％以上にする。</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、５・６年生を対象に前年度と比較すると、どの種目においても１０ポイントほど向上している。しかしながら、５年生を対象に大阪市平均の記録と比較すると、反復横跳びでは平均を２ポイントほど上回っているが、シャトルランと立ち幅跳びでは男女とも平均を下回っている。指標では目標を達成しているが、ポイントの向上は体の成長に伴うものと考えられるため、来年度の指標の見直しが必要である。跳躍力や持久力、俊敏性をアップする活動をスポーツテストだけに焦点を当てて行うのではなく、体育学習を含め、教育活動全般で継続的に取り組める活動を考えていく必要がある。</p> <p>② 校内調査における「運動することが好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合が８７％であり、指標の目標値を上回っている。コロナ禍で制限が多く自由に遊べない状況の中、休み時間になわとび検定等の工夫した取り組みがされていた。引き続き三密に気を配りながら、体育の学習や休み時間を使い、体を動かす楽しみを味わえる取り組みを増やしていく必要がある。</p>	